

しっかり根付いて白い花咲かせて



守る会のメンバーと一緒にバイカモを移植する児童。しっかり根付くといいですね

写真は高山国道事務所提供

守る会が小学生とバイカモ移植

一之宮まち協だより

第39号

平成29年8月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087

電話 53-2424

バイカモの移植作業が7月13日に、宮小の6年生17人が参加して、水無神社前の常泉寺川で行われました。

児童達は、主催者の「一之宮バイカモを守る会」の早川克也会長から保護活動の説明を聞き、飛騨生態調査研究室の大森清孝代表からバイカモの生態について学んだ後移植作業を行いました。

バイカモは市の指定天然記念物で、県のレッドデータブック絶滅危惧類にも掲載されている清流だけに生育する水生植物で、今頃になると白い花を咲かせます。

平成16年の台風23号で流されてしまい、以後守る会の人達が中心になって保護活動をしてきました。

この子ども達はライフジャケットを着て川の中に入り、守る会の人や高山国道事務所の関係者らと一緒に、バイカモを石などで固定して水中に植えていきました。

子ども達からは「ふるさとにはバイカモが生えているのでうれしいです」などの感想も出ていました。

バイカモ移植を通じて、一之宮の宝である清流を守り続けてほしいと思います。

宮 再発見! トマトハウス群

最盛期を迎える地域の基幹産業

初夏を迎えると一之宮町の農地に、太陽の光を浴びキラキラ光るカマボコドームが出現します。夏秋トマト栽培のためのビニールハウスです。飛騨地域でのトマト栽培は、昭和40年代に全国に先駆けて「雨よけハウス(ビニールハウス)」による栽培を導入することで、高品質な夏秋トマト栽培を確立し、一大産地としての地位を確立しました。

夏秋トマトは主に7月から11月に収穫されます。岐阜県の作付面積は西日本では最大。山間部の比較的冷涼な気候条件の地域が多く、飛騨地域では「飛騨トマト」のブランド名で、関西・中部・関東・北陸各地に出荷されています。

JAひだによれば、飛騨全域では生産者は383名、作付面積130haで、出荷量は11,500トン(4kg箱で約280万ケース)。一之宮町では、生産者は12名(飛騨全域の約3%)で作付面積は6ha(同5%)、出荷量は555トン(同5%)です。

一之宮町では、昭和50年代に位山地区で本格的に栽培が始まり、他の地区にも広がりました。収穫されたトマトは、久々野町山梨にある野菜集荷場に集められ、久々野や朝日のトマトと共に主に関西方面に運ばれます。

生産者の方にお聞きしたところ、栽培作業は朝5時ごろから気候に合わせて水散布の量・肥料の調整で始まり、収穫はトマトの品質を保持するために、涼しい朝と夕方の時間帯に行うとのこと。日中はハウス内が高温多湿になり、作業は大変です。

真夏には、生産者の方々が精魂込めて育てた一之宮産の美味しくみずみずしい真っ赤なトマトが各家庭の食卓を彩ります。

トマトは、低カロリーで老化やがんを予防する抗酸化物質が多く含まれるなど、さまざまな栄養成分が豊富な健康野菜。多めに食べて暑い夏を乗り越えましょう。(伊藤健生)



シシ山に建てられているビニールハウス群

川でつながる宮小、岩瀬小の交流

宮・岩瀬交流

黒木 良太 (宮小学校教諭)

宮小学校の5年生は6月16日に富山県富山市にある岩瀬小学校を訪問しました。

5年生は総合学習で「川の学習」を勉強していて、富山湾に注ぐ宮川(富山県に入り神通川)の河口付近にある岩瀬小学校と長年交流をしているからです。

道中、子ども達は国道41号線を通るバスの中から宮川の中流域を観察し、上流との川の幅の違いや水の色の変化を見つけました。

岩瀬小学校の5年生と岩瀬浜で合流し、両小学校の児童とも初対面で緊張した面持ちで顔合わせをしました。初めは、自分の好きなことをお互いに言っ、手作りの名刺を交換しました。岩瀬小学校と一緒に食べたお昼の給食中も、積極的にお互いのことを知ろうと、会話をたくさんして、楽しむことができました。

給食後の交流会では、宮小児童は、一之宮の町の魅力として、水無神社や臥龍楼といった名所があることや今年の水無神社で50年に一度の大祭が行われたことを紹介しました。岩瀬小児童の発表では、一之宮の祭と同じように、曳山祭りという祭りが行われていることや、「三角どらやき」、「とび団子」といった食べ物があることを紹介してくれました。

岩瀬小学校との交流も、あつという間に過ぎ、帰る際には、「また絶対行くからね」「楽しかった、また会おうね」と別れを惜しむ様子が見られました。



岩瀬浜でお互いの名刺を交換し合う両校の児童

宮小では伝統的な授業として5年生が宮川源流から河口の岩瀬浜までの環境の変化について学んでいます。その一環としての岩瀬交流について寄稿していただきました。

宮小学校の児童は、「この岩瀬交流で、下流と河口の水質を調べたら、COD(化学的酸素要求量)が0だったので、岩瀬や下流付近では、川の水を綺麗にする工夫があるんだなと感じました。川の学習をして、僕たちも上流が近くにあるので、川や自然を汚くしないように大切にしたいと感じました。また、岩瀬小学校の人たちと交流をして、岩瀬の町のことを知れたし、岩瀬に住む人たちの暮らしもよく知ることができて良かったです」と感想を述べてくれて、非常に充実した1日でした。

一筆

気ままにエッセー

啓上

文化活動を通して感じたこと

伊藤 健生 さん (寺元)

私は、他県から当時の宮村に移り住み、地域の方々には温かく迎えていただき今日に至っています。

この町の生活の中で一番強く感じているのは、飛騨地域一円でも言えることですが、人口比率で考えると文化を愛し教養の高い人々が多いということです。文化を楽しみ教養を高め、人生を謳歌している人々の姿に沢山接してきました。

これはこの地方の長い歴史の積み重ねが作用しているのでしょうか。

一之宮町の中でも、俳句や詩吟などの詩歌、絵画、邦楽、洋楽、舞踊、郷土史研究、クラフト制作及び同人誌の発行など沢山の団体や個人の方々が文化活動を行っています。

文化活動の発表の場の一つとして、毎年11月上旬に開催される「一之宮町文化祭」がありますが、近年は宮保育園を始め宮小中学校の協力もあり、物品販売や東日本大震災応援キャンペーンを通じて、子どもからご老人まで幅広く参加して頂けるイベントに成長したと感じています。

町が一つになれるこの流れを絶やすことなく、若い人、特に高校生の皆さんに写真・絵画・書などの作品展示やダンス・歌・楽器演奏などのパフォーマンスによる芸能発表への参加を期待しています。

今一之宮町で活動している文化団体の多くは、会員の高齢化に直面しており、若い世代への継承が重要になってきていると感じています。

若い方々がこの町の伝統芸能を継承するのと同じように、自分の人生が豊かになる文化活動を通じ、一之宮町のまちづくりを支えて頂ければありがたいです。まち協は文化活動について相談に乗りますので、気軽に事務局等にお問合せ下さい。



頑張ってます！

地元で頑張っている若い人にスポットをあてて紹介します

山下 江里子さん(44) 《寺》



職場のモデルハウス
まゆひな売り場にて

●ご出身は？
茨城県水戸市出身
(朝トラ「ひよっこ」
みてます！)

●お仕事は？
モンテウスで観光
協会やスキー場のお
手伝いをしています。

●趣味は？
ものづくり

●地元の好きなところは？
自然豊かなところ・四季折々に変化する田んぼ

●これからやってみたいことは？
まゆひなづくり

●「宮」へ一言
家族みんな宮が大好きです♡そして、宮のお米はおいしいです。いつまでもおいしいお米がとれる自然豊かな宮であってほしいです。

一之宮短歌会作品より

三木藤次郎

災害の少なき飛騨に生かされて身にしみて見る被災地の惨状
峠より響く車の騒音が田面を渡る風にのりくる

永田和子

巻き起るる日本列島の災害に暑さぐらいて愚痴は云うまい
奥飛騨の山懐に抱かれて災害知らずに眠れるしあわせ

森本浩資

早起きは体内時計のリセットボタン大空いっぱい腹式呼吸
暑い夏胃腸のためにも熱いお湯元気を出して庭本をはさむ

図書館案内



★夏休みの宿題、応援中!

図書館では、「夏休みの宿題 お助けコーナー」を開設中。工作や自由研究、読書感想文に役立つ本、戦争と平和に関する本などを紹介しています。

★夏休み、20冊の読書に挑戦しよう!

子どもを主な対象に、読んだ本を記録する「読書通帳」をお渡ししています。20冊達成すると図書館から表彰状を贈ります。

気軽にスタッフへお問い合わせください。

★他の分館と450冊資料交換を行いました。

★【予告】1歳6ヶ月児対象のブックスタート絵本の引き換えとおはなし会

9月16日(土)午前10時30分～詳しくは館内のポスターをご覧ください。

<今月の特集>

★「恐竜図鑑・恐竜絵本」

図鑑を読んで恐竜博士に。絵本を読んで恐竜を身近に感じよう。

<おはなし会のご案内>

8月19日(土)午前10時30分～ スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

8~9月行事予定

8月

- 3日・4日(木・金) 住民健診
- 6日(日) 夏の環境整備
- 7日(月) 生涯学習講座「昭和歌謡教室」
- 13日(日) ローラースキー大会
- 14日(月) 納涼夏祭り
- 21日(月) 町内会長会
- 27日(日) 六地区体育大会
- 29日(火) 昭和歌謡のつどい

9月

- 3日(日) 総合防災訓練
- 4日(月) 生涯学習講座「昭和歌謡教室」
- 9日(土) 宮小中運動会
- 14日(木) 敬老会
- 20日(水) 町内会長会
- 23日(土) 宮保育園運動会

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

ももか 桃加ちゃん 平成28年5月8日生まれ

お父さん: 富田 伸一さん 《南》
お母さん: 富田 沙織さん 《南》

桃加を妊娠中に散歩で家の畑の前を通っていたんですが、植えてある桃の木にピンク色の花が咲いていて、とても可愛くて気に入っていたので『桃』の字が入る名前に入りたいと考えていました。『加』の漢字には、足す・多くなる・重ねるなどの意味があるそうです。桃の花のように優しくて愛らしく、沢山の経験を重ね



て自分にも周りにもプラスとなるような、そんな子になって欲しいと思っ、桃加と名付けました。よく食べて元気に遊び、笑顔が素敵な桃加、これからもすくすく育てたいです。

お知らせ

■「夏休み上映会」開催

高山市図書館一之宮分館では、夏休み恒例の上映会を開催します。ご家族で、お友達同士で、ぜひお越しください。

- ◆日時: 8月2日(水)午前10時～
- ◆場所: 一之宮公民館 和室
- ◆上映作品: 『おまえうまそうだな』『日本の昔ばなし』ほか
- ◆入場無料・申込不要です。

■第2回「昭和歌謡のつどい」参加者募集

生バンドをバックにみんなで懐かしの昭和歌謡を歌いませんか! まち協文化教養部では昨年に続いて開催します。

歌の上手・下手に関係なく、歌うことの好きな人はぜひ参加してください。

伴奏は昭和歌謡教室でおなじみの中島良晴さん率いるプロミュージシャンによる生バンドです。

- ◆日時: 8月29日(火) 午後1時30分
- ◆会場: 一之宮公民館
- ◆料金: 500円
- ◆申込み: 一之宮公民館でチケットをご購入ください。電話予約もできます。予約申し込みは53-2424まで



■日本酒講座開催します

まち協文化教養部では日本酒について楽しく学んでおいしく飲みましょと、日本酒講座を開講します。お酒の好きな人、興味のある人はぜひ参加してください。

- ◆日時: 8月24日(木) 午後7時～
- ◆会場: 一之宮公民館
- ◆内容: 利き酒、おいしい飲み方など
- ◆会費: 2,000円
- ◆定員: 15人(定員になり次第締め切ります)
- ◆申込み: 一之宮公民館(53-2424)まで



■バイカモ保護活動に協力してもらえませんか

バイカモは清流の常泉寺川に生育する一之宮町の大切な財産です。毎年宮小の6年生が移植活動に取り組んでいますが、一之宮町の住民の方にも保護活動に協力していただくと幸いです。

活動内容は、ヨシなどの草取りと移植作業などです。

協力していただける人は、班内回覧される協力者連絡票に名前を記入していただくか、直接守る会まで連絡してください。

一之宮バイカモを守る会(代表) 早川克也(電話53-2139)

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0~14歳	170	158	328	-15
15~64歳	678	699	1,377	-9
65歳以上	339	482	821	+6
合計	1,187	1,339	2,526	-18
世帯数	821戸			+9

平成29年7月3日現在

一之宮町の人口情勢(人)

つぶやき...
結婚! 7月15日、息子の同級生が結婚しました。もうそんな年頃なんだなあと、しみじみ思います。保育園の頃から我が子のような気持ちで接してきたので、嬉しさで胸がいっぱいになりました。仲が良い3人兄弟の次男さんで、おっとりした正直者。仲睦まじい両親に大切に育てられ、周りの雰囲気もいつも明るく癒してくれました。思い出すのは、少年野球をしていた頃の真つ黒な顔と坊主頭。何度失敗しても叱られてもくじけず、涙をこらえながらふんばる姿に、私は涙したこともありました。結婚式では、小学3年生から一緒に始めた野球メンバー9人全員が一致団結、みんなで盛り上げ祝福しました。結婚したら一之宮町を離れることになりました。そう思うと心寂しいですが、これから2人で「一所懸命」幸せを築いてくれますよう、ふるさとから想っています。
プレイボール!!
うしまる ともしこ

まち協前期教養講座「デコパージュ教室」

カラフルで個性的な仕上がりに満足

7月11日に前期教養講座「デコパージュ教室」が開催されました。デコパージュとは、フランス語のDecouper(切り抜く)に語源を持つ言葉で、紙や布に描かれた絵や模様を切り抜き貼って、物の表面を飾る技法のことをいいます。最近ではとても人気の工芸で百円ショップで材料を調達できます。

この日はほとんどの方がデコパージュ初体験。たくさんある絵柄の中から自分の好きなものを選び、作業に入りました。先生の手ほどきを受けながら、1時間ほど貝殻と石鹸にステキなデコパージュが完成しました。同じ柄がなく、カラフルで個性



的な仕上がりにみなさん満足していました。「次はバッグなど、もう少し大きなものにデコパージュしてみたい」という声も聞かれました。



自分の完成作品を見せあう参加者

一之宮子ども会が岩瀬地区を訪問して交流 今年で23回目を迎える両地区の子どもも交流会

一之宮子ども会と神通川河口の富山市岩瀬地区児童クラブとの交流会が7月22・23日に行われました。

別れ際に住所や電話番号交換を行ったり、文通約束したりする児童もいました。(中蔵子ども会長)

23回目を迎える今年の交流会は岩瀬地区が会場となり、一之宮からは児童35名、岩瀬からは児童17名が参加して交流を深めました。

初日は泥ダンゴづくり体験を行い、光らせるために30分以上ビンの口で磨き、個性のある色合いの団子を作っていました。

翌日はあいにくの強風と雨で海水浴はできなかつたものの、チーム対抗でミニゲームやビーチバレー大会を行い汗を流しました。



泥ダンゴづくり楽しむ子ども達

各地域で花壇づくり みんなの心なごませて

平成29年度花いっぱい運動の花苗の配付が6月30日に行われ、班や子ども会など各地区の花壇では定植が行われました。

山上下班では、副班長の林和宏さんが中心となって、マリィーゴルド、サルビア、アゲラタムなどの苗植えが行われました。

あいにくの雨でしたが、植え付け準備もできており、地区の十数名で、手早く作業が終わりました。また、同時に子ども会の花壇の苗の植え付けも行われました。

今年も当番を決めて花壇の水やりや草取りなどの管理を班全体で行います。きれいに咲き、みんなの心を和ませてくれることを願っています。(山腰)



雨の中で作業を進める班の人達

班対抗ソフトボール 優勝は問坂下地区

毎年恒例の班対抗ソフトボール大会が7月3日から宮小学校グラ

ウンドでナイターにより行われました。

今年の参加チームは11チームで昨年より1チーム増えました。うち合同班による参加は3チーム。試合はトーナメントで行われ、今年、雨の影響も少なく順調に試合が進み、21日に決勝戦が行われました。(中畑)

結果は次のとおりです。
▽優勝Ⅱ問坂下 ▽準優勝Ⅱ宮川
▽最優秀選手Ⅱ問坂英樹 ▽優秀選手Ⅱ谷口孝太

女性部が気功教室開催
穏やかな時間を体感

まち協女性部は今年度の全体活動として、7月4日と8日に一之宮公民館で気功教室を行いました。家庭を守る女性のために、山本弥生先生の指導のもと50人が参加しました。

気功は呼吸を整え、心を落ち着かせます。静かな時間の流れを感じるのと同時に、自然と穏やかな気持ちになってリラックスしていきま

す。それと同時にゆっくりとした動作は痛みを感じますが、ほどよい運動となりました。気功のコツは、「がんばらない、

清掃ボランティア活動 登録団体が公民館を

7月23日に一之宮公民館の清掃が、同公民館の登録サークル団体により行われました。

今回は雨の中32名が参加して、ガラス戸磨きや庭掃除に汗を流しました。



優勝した問坂下班の選手のみなさん



ゆっくりと体を動かす参加者

この清掃活動は、まち協・文化教養部の主催で、サークル活動で公民館を使用している登録団体が、日頃の感謝を込め毎年2回行っています。

このようなボランティア活動が、地域の公民館を支えています。参加者のみなさん、お疲れ様でした。